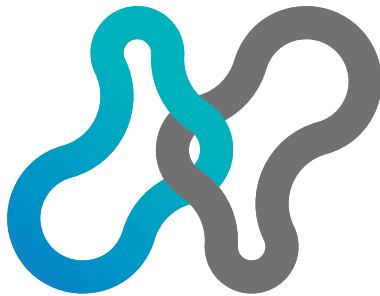


第**58**期 **株主通信**
2021年4月1日～2022年3月31日

“一番欲しい”を最速で



HARMONIZE

by JB Group

JBCCホールディングス株式会社

証券コード：9889（東証プライム市場 情報・通信業）

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社の2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）の事業概況をご報告申し上げます。

J BCCホールディングス株式会社
代表取締役社長

東上 征司



当社グループは当連結会計年度より新たな中期経営計画「HARMONIZE 2023」をスタートさせ、お客様のデジタルトランスフォーメーション（DX）を実現する当社独自のトータルITサービス体系である“HARMONIZE”をリリースいたしました。

「創り出そう、躍動する社会を。挑戦しよう、技術とともに。」というグループビジョンのもと、当社が持つ確かな技術で躍動する社会の実現を目指し、「価値創造型企業」に向けて日々挑戦を続けております。

当連結会計年度においては、注力事業である超高速開発、クラウド、セキュリティ、クラウドデータ連携（Qanat Universe）が着実に伸長し、事業構造変革が順調に進捗いたしました。これら高付加価値ビジネスの新規受注高は、前年比でいずれも60%を超える伸びを見せ、今後の安定的な収益となるストックビジネスの拡大にも大きく貢献しております。

当連結会計年度の業績は、売上高55,934百万円（前期比6.8%減）、営業利益3,083百万円（前期比18.4%増）、経常利益3,227百万円（前期比18.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2,245百万円（前期比16.2%増）となりました。

売上高については、株式会社アイ・ラーニングの株式を譲渡し連結対象外となったことやクラウド化の進展でシステム製品の販売が減少したこと等により減収となりましたが、事業構造変革による高付加価値ビジネスへのシフトにより、営業利益以下の利益については前年比二桁の増益となりました。

2023年3月期につきましては、注力している高付加価値ビジネスのストックが新規確保高として順調に積み上がってきていることから、売上も増加に転じる見込みです。今後は、トップラインである売上高も着実に成長させ、利益はさらに成長を加速し、企業価値を持続的に向上していけるよう経営努力を続けてまいります。

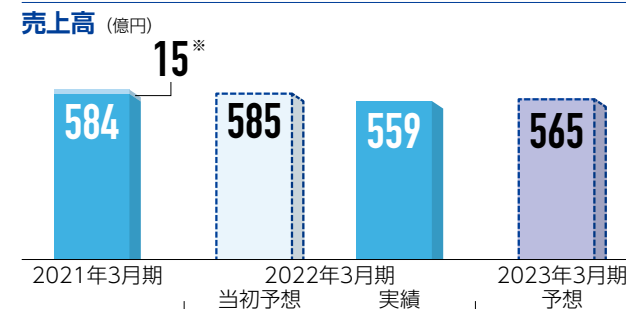
なお、株主の皆様への還元の一環として、2021年10月から2022年1月にかけて、計56万株、約10億円の自己株式の市場買付を行いました。また足元の好調な利益状況を踏まえ、期末配当金につきましては、当初予想の26円に対し6円増額し32円といたしました。これにより当連結会計年度の年間配当金は58円となります。さらに、この好調な業績をさらに伸長させることで、2023年3月期の年間配当金は、62円を予想しています。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

営業利益 二桁成長

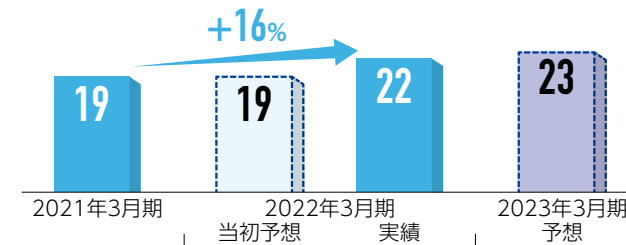
対前年 **+18%**

当初予想を上回り、1月に業績予想を修正



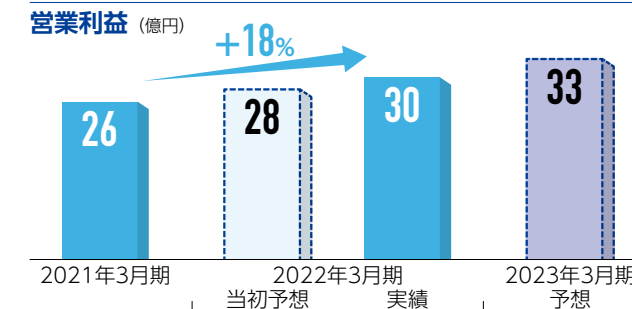
※ サービス分野に含まれる株式会社アイ・ラーニングの株式を2021年3月31日付にて譲渡（連結外に）

親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)

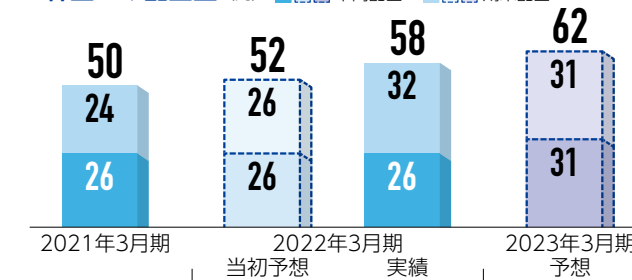


HARMONIZE 注力事業伸長

新規受注高	超高速開発	前年比 +80%
	クラウド	前年比 +67%
	セキュリティ	前年比 +79%



1株当たり配当金 (円)



主な経営指標

	2021年3月期	2022年3月期	対前年
売上高総利益率	28.9%	30.4%	+1.5ポイント
売上高営業利益率	4.3%	5.5%	+1.2ポイント
ROE	11.6%	12.6%	+1.0ポイント
1株当たり当期純利益	120.2円	140.3円	+20.1円

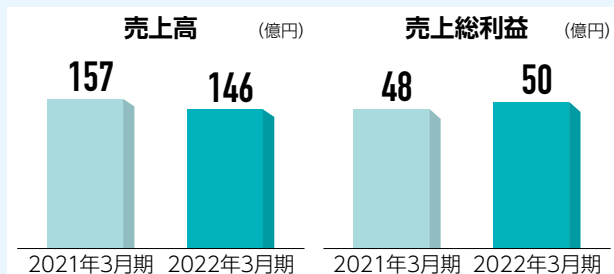
情報ソリューション分野

注力事業

SI (システム開発) 超高速開発

従来型開発から付加価値の高い超高速開発へのシフトが着実に進みました。既開発案件のアセット化、部品化を徹底して進めることで開発生産性を高め、超高速開発へのシフトがさらに加速し、利益率も向上いたしました。

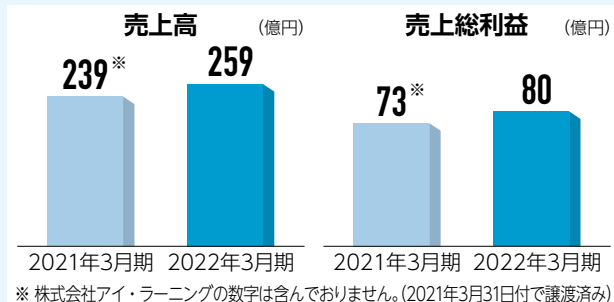
(利益率 30.6%→34.4%)



サービス クラウド セキュリティ

ハイブリッドクラウドやマルチクラウド構築に関する知見を蓄積してまいりました。お客様の現況を可視化した上で、最適なクラウドサービスを提案できることが特徴です。また、当社が強みとするマルチクラウドセキュリティにも注力し、売上・利益ともに伸ばいたしました。

(利益率 30.6%→30.9%)

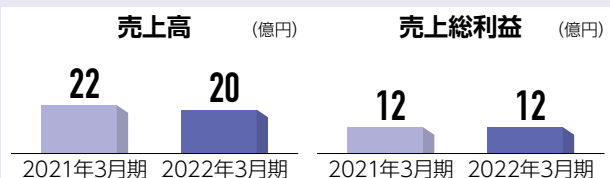


製品開発製造分野

Qanat Universe

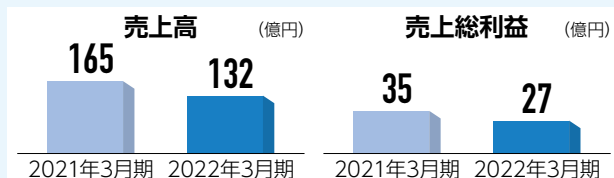
注力製品である「Qanat Universe」を中心に、サブスクリプションによる月額サービスへの移行を進めており、ストックビジネスを基盤とした安定的な高収益事業に注力しております。

(利益率 55.3%→59.8%)

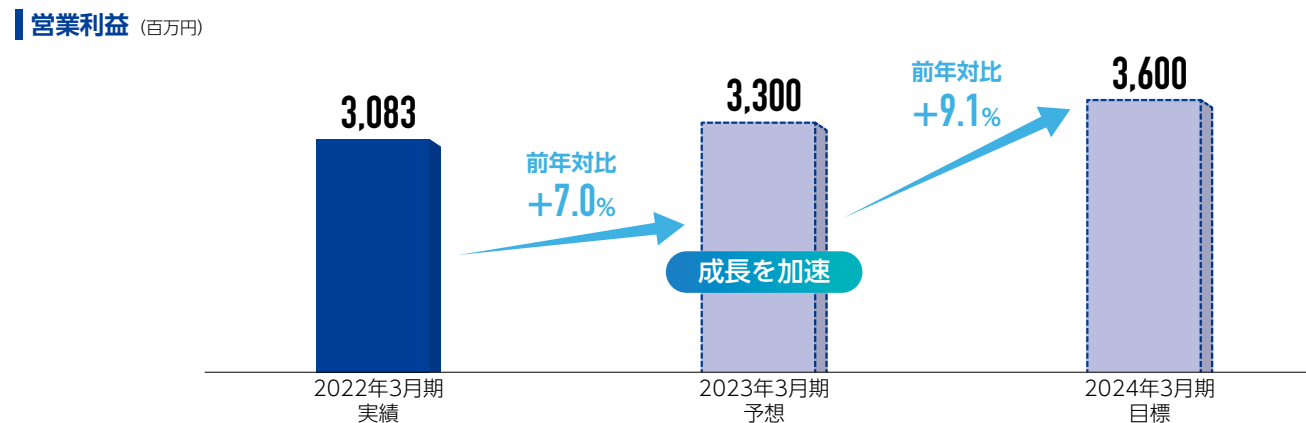
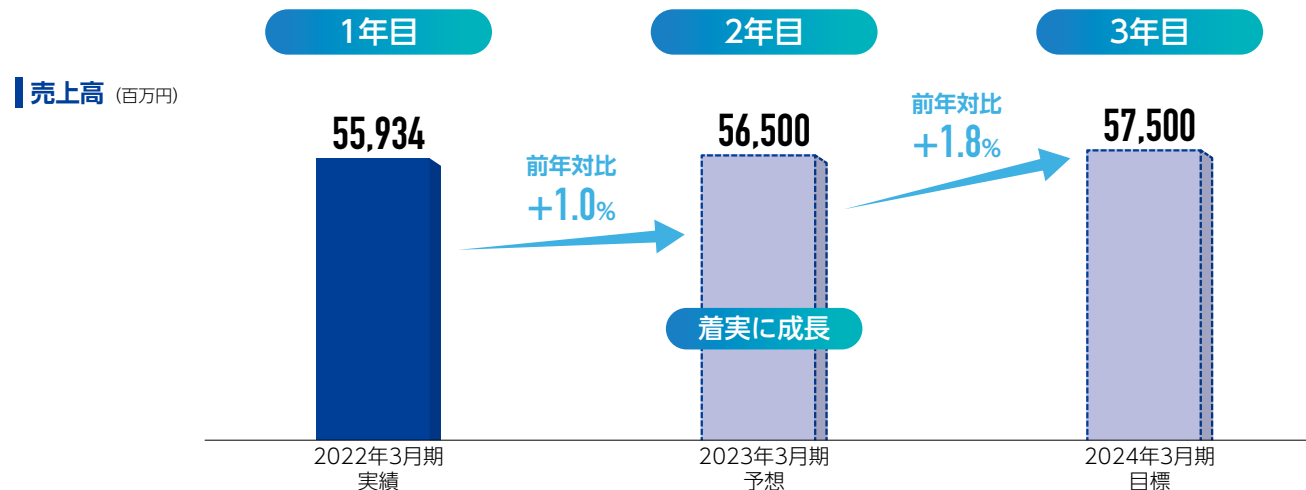


システム

クラウド利用ヘシフトが進んでいるため、売上高は減少いたしました。今後も、クラウド利用の進展によりシステム(ハードウェア)の売上は減少傾向が見込まれますが、超高速開発・クラウド・セキュリティ等の注力事業の成長を加速させ、事業構造変革を進めていきます。



当社中期経営計画「HARMONIZE 2023」初年度にあたる2022年3月期は、4つの注力事業が順調に進捗し、営業利益が前年を大きく上回りました。また売上高についてもストックビジネスの伸長により着実に成長しました。現在までの事業構造変革の進捗状況と2023年3月期の業績予想を踏まえ、2024年3月期の目標値を見直しました。引き続き高付加価値ビジネス主体の事業構造への変革を進め、売上については着実に成長させるとともに、営業利益については成長を加速させていきます。





注力事業 ビジネス状況

	2021年3月期	2022年3月期	2024年3月期 目標	
超高速開発	<p>SI全体に占める 超高速開発比率</p> <p>25%</p>	<p>42%</p> <p>対前年比</p>	比率 70%	
売上高	4,017百万円	6,173百万円	+53.7%	
受注高	3,676百万円	6,611百万円	+79.8%	
クラウド	売上高*	3,170百万円	+51.9%	CAGR 46%
	2,086百万円			
	新規受注高*	132百万円/月	+67.2%	
	79百万円/月			
セキュリティ	売上高*	2,702百万円	+38.5%	CAGR 42%
	1,950百万円			
	新規受注高*	90百万円/月	+79.3%	
	50百万円/月			
クラウドデータ連携	契約本数	706本	+553.7%	10,000本
	108本			

* クラウド及びセキュリティの売上高・新規受注高はストック

HARMONIZEが提供する10のソリューションとサービス

ビジネスモデル 変革支援	業務変革ソリューション	プラットフォーム 変革ソリューション	コラボレーション サービス
お客様の ビジネスモデル変革を 一貫してご支援	お客様の業務変革を、 最適なソリューションで スピード実現	お客様の インフラ変革を、 最適コストで おまかせ構築	お客様との 統一窓口で、 役立つ情報をご提供
パリュークリエイト サービス	超高速開発 SaaS	IaaS	ポータルサービス
共創サービス	デジタル業務 ソリューション	セキュリティ	コミュニティ
	クラウド連携 ソリューション		

“一番欲しい”を最速で



HARMONIZE
by JB Group

1/2*の期間で基幹システムができる超高速開発と、3か月で構築する最強フルクラウドで、お客様がやりたいこと、実現したいことをどこよりも早く実現します。

* 2014年～2020年に実施した大型基幹システム(開発期間10か月以上)の他社見積もり期間との比較平均値



グループが一体となり、超高速開発、クラウド、セキュリティ、クラウドデータ連携を推進し、さらなる成長を目指していきます。

超高速開発

ローコード開発ツールを活用した当社独自の超高速開発手法「J B アジャイル」により、通常の1/2の期間でシステムを構築することが可能です。これまで430社以上のお客様に導入してきました。

2021年10月に設立した超高速開発センターに開発体制を集中することで、開発をより効率的かつ高品質に対応することが可能になりました。案件の大型化も進んでおり、さらに多くのお客様に超高速開発の価値を届けていきます。

クラウド

お客様のシステム環境を診断し、最適なクラウドの選定・移行を提案するインフラクリニックを600社以上に実施してきました。蓄積された知見やノウハウに基づくクラウド構築技術と、運用後も継続してコストを最適化するサービスは、お客様から高い信頼を得ています。

クラウドを活用したDXの実現や課題解決もワークショップを通じて具体的に提案しており、企業のクラウド活用をトータルで支援しています。

セキュリティ

クラウドの活用やテレワークの広がり、後を絶たない企業へのサイバー攻撃や昨今の国際情勢の緊迫等により、セキュリティへの関心はより一層高まっています。

J Bグループはマルチクラウド環境のセキュリティ対策に早くから取り組みを進めており、国際的なセキュリティ基準に準じた高度な専門スキルとお客様の要望に応じた最適なセキュリティ提案はお客様から高く評価されています。

クラウドデータ連携

様々なクラウドサービスやシステムをつなぐ「Qanat Universe (カナート ユニバース)」は、奉行シリーズや楽楽精算*等、国内の大手業務クラウドサービスに採用され、ビジネスが拡大しています。

クラウドや社内のあらゆるものを“つなぐ”独自のテクノロジーは、センサー等のIoT機器との連携にも活用が広がっており、ビル内を自動で掃除するお掃除ロボットの制御に採用される等、市場に新たな価値を創出しています。

* 奉行シリーズ：株式会社オービックビジネスコンサルタント提供 / 楽楽精算：株式会社ラクス提供

お客様のDXをHARMONIZEでご支援しています。

業務変革
ソリューション

サッポロビール株式会社 様

ビール・酒類などの製造・販売

AIを活用したチャットボットで社内の問い合わせを効率化



サッポロビール株式会社様は、140年以上にわたる歴史を誇るビールメーカーです。早くより働き方改革に取り組み、その一環としてFAQ（よくある質問と回答）サイトを設けて社内の問い合わせ対応の効率化を進めてきましたが、テレワークでのコミュニケーションツールとして全社的に導入されたMicrosoft Teamsと連携・活用した効率化を検討されていました。そこでJBCは、クラウド型AIチャットボットサービス「CloudAIチャットボット」を提案、早期導入を支援しました。お客様が使い慣れたMicrosoft Teamsから気軽に問い合わせができ、即座にAIによる最適な回答を得られるという環境を実現し、1,000人を超える利用者からの日々の問い合わせに役立てていただいています。

セキュリティ

横河レンタ・リース株式会社 様

IT機器・計測器レンタル/システム基盤構築・保守

国際的なセキュリティガイドラインに基づく安心のクラウド活用



横河レンタ・リース株式会社様は、レンタル事業とシステム事業を二本の柱とし、IT機器や計測器等のレンタルやサービス提供をされています。システム基盤としてMicrosoft AzureやAmazon Web Servicesなどのパブリッククラウドを積極的に活用していますが、専門的な知識を必要とするクラウドのセキュリティ運用に課題をお持ちでした。JBCは、国際的なセキュリティガイドラインに基づく「クラウド設定監査サービス」で、クラウドのセキュリティ設定を正確に管理し、設定漏れにも即座に対応できる環境を実現しました。さらに、定期的なセキュリティ診断を実施することで、お客様のビジネスを支えるマルチクラウド運用を継続して支援しています。



HARMONIZE
お客様の声

J Bグループ公式YouTubeにて、HARMONIZEを採用いただいたお客様からの声を紹介しています。



グループ一体となり、日々挑戦を続けるメンバーの取り組みを紹介します。

新しい技術にチャレンジし、お客様プロジェクトでJBCと超高速開発を推進



株式会社シーアイエス
超高速開発事業部
バックオフィス・イノベーション
推進部
よしだ りょうや
吉田 涼弥さん

2015年に入社し、現在、中部地区を中心に超高速開発プロジェクトの推進を担当しています。私が現在参画しているプロジェクトでは、お客様との合意形成のスピード感や反復開発の最適化などを、豊富な経験を持つJBCとともに、超高速開発で進めています。

超高速開発は、お客様の叶えたいことを柔軟に見える形でお応えすることに加えて、その名のとおり、短期間での高速開発を実現できるのが特長です。ローコード開発ツールとアジャイル開発手法を組み合わせた超高速開発手法により、従来の1/3の期間での高速開発を実現した事例もあります。これからも他社にはない、これまで蓄積したノウハウをグループの強みとして、お客様に最適なDXをご提案していきます。

JBATとタッグを組み、Qanat Universeを活用した高付加価値サービスのご提案

ソルネットに入社以来、九州エリアのお客様に向けて、地域に根差した活動を行っています。グループの事業会社でオリジナルソフトウェア開発を手掛けるJBATと協力し、ソルネットとしては初めて、JBATのクラウド連携プラットフォーム「Qanat Universe」を活用したお客様向けのサービスを構築・開発し、ご提供しました。お客様の課題解決やアイデア実現には、様々な知見やノウハウが必要ですが、JBグループでは各社それぞれの特長や強みを組み合わせ、高付加価値サービスをご提供することができます。これからも、グループ一丸となって、お客様と新たな価値を創造できるよう挑戦してまいります。



株式会社ソルネット
ビジネスデザイン統括
パリュークリエイト
セキュリティサービス部担当部長
うつのみや まさと
宇都宮 真人さん

社員の誰もが“自分らしく”働き、活躍できることを目指して

J Bグループは、社員の誰もが“自分らしく”働き、活躍できることを目指し、フルフレックス制や時間単位での有休取得等の勤怠制度に加え、独自の子育て支援制度や実質定年制の廃止によるシニア世代の活躍推進等、ライフステージの様々な場面を支援する制度を充実し、社員の働く意欲を後押しする柔軟な働き方を実現してきました。

2022年4月からは、新たに成果を重視する人事制度(成果主義)を導入し、これらの制度を活用しながら、社員が自主・自律して最大限の成果を発揮できるような働き方にチャレンジしていきます。

自律した柔軟な働き方「Style J」

時間・場所・組織・年齢を問わない働き方を実現

- ・柔軟な勤務制度の充実
- ・テレワーク環境の整備支援
- ・複業*の推進
- ・匠・極プログラム(60歳・70歳以上の雇用制度)

成果主義の導入(2022年4月)

働いた時間ではなく、成果を評価

- ・全員年俸制への移行(新入社員を除く)
- ・目標と評価制度の改善・強化

※通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく“複”数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。



本社移転のお知らせ

J B C Cホールディングスは、本社を東京ミッドタウン八重洲(東京都中央区)に移転いたします。新オフィスには、J Bグループの首都圏オフィスも統合し、これまで以上に柔軟でスピード感のあるビジネスをグループ一体で展開してまいります。

移 転 先 東京ミッドタウン八重洲
(東京都中央区)

*2022年9月竣工予定

移 転 時 期 2023年1月頃

社員がつくる新しい働き方

J Bグループの新しい働き方のコンセプトは、仲間と「つながり」、お客様と「つながり」、未来へと「つなぐ」。仕事の目的や内容に応じて、オフィス、自宅、コワーキングスペース等、働く場所を自由に選び、みんなが自主的に働いていくことを目指しています。



首都圏オフィス移転タスクチーム



Tsunag

新しい働き方のコンセプト
「つなぐ」

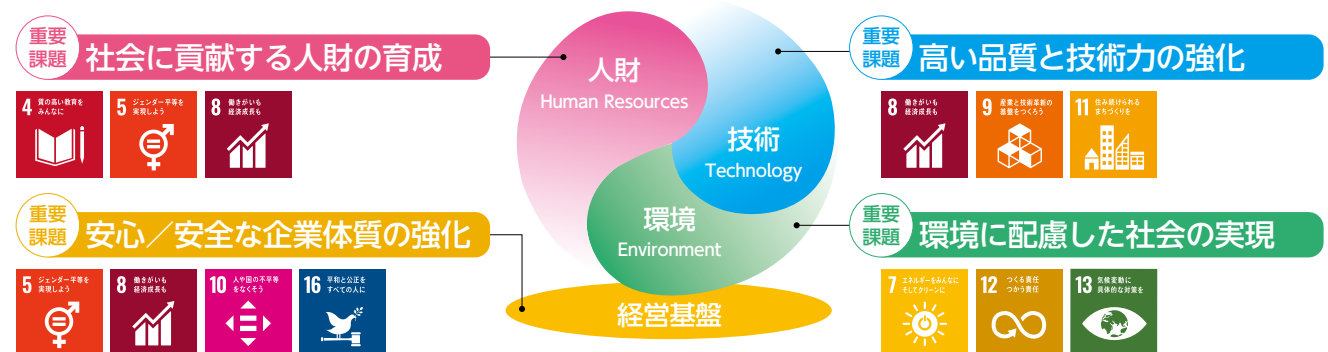
サステナビリティへの取り組み

基本方針

J Bグループは、「創り出そう、躍動する社会を。挑戦しよう、技術とともに。」というビジョン実現に向け、グループが持つ最新技術を駆使し、私たちの事業である“IT”を通じて持続可能な社会の実現に貢献いたします。また、様々なステークホルダーとの対話を通じて事業活動を展開し、持続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。

4つの重要課題(マテリアリティ)

事業を通じた社会課題の解決によって持続的な社会を実現するため、当社グループに関連する社会的課題の中から、重要課題(マテリアリティ)を抽出しました。この重要課題に注力することにより、事業を通じて持続可能な社会の実現を目指します。



サステナビリティ委員会設置

- サステナビリティ委員会**
 - SDGs推進部会**
事業を通じた社会貢献、SDGsへの対応
 - 人財部会**
事業戦略に沿った人財育成や中核人財の多様性実現

サステナビリティへの取り組みを進めるため、2022年4月に新たにサステナビリティ委員会を設置しました。グループ全体のサステナビリティに関する事項を審議・評価・決定していきます。また、同委員会のもとに2つの部会をおき、各重要課題に取り組んでまいります。

サステナビリティの取り組み

当社ホームページでサステナビリティの取り組みについて紹介しています。

<https://www.jbcchd.co.jp/sustainability/>



1 現金及び預金の増加、受取手形、売掛金及び契約資産の減少は、売上債権の堅調な回収によるものです。

2 確定拠出年金制度への完全移行に伴い移管金の払込みを行っていることから、固定負債のその他は順次減少しております。

3 株主還元の一環として、自己株式の市場買付を実施いたしました（約10億円）。

当期連結決算の詳細は当社ホームページ【IR資料室(決算短信)】に掲載しています。

JBCCHD IR 決算短信

検索

<https://www.jbcchd.co.jp/ir/library/>



連結貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	前連結会計年度末 2021年3月31日現在	当連結会計年度末 2022年3月31日現在
資産の部		
流動資産		
1 現金及び預金	25,719	25,596
1 受取手形、売掛金及び契約資産	10,753	12,111
商品及び製品	11,976	10,347
仕掛品	938	1,157
原材料及び貯蔵品	227	—
その他	233	254
1,590	1,725	
固定資産		
有形固定資産	9,027	7,663
無形固定資産	1,877	1,095
投資その他の資産	624	531
6,525	6,036	
資産合計	34,747	33,259
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,137	13,381
短期借入金	4,064	3,720
その他	290	210
8,782	9,451	
固定負債		
退職給付に係る負債	4,003	1,861
263	7	
2 その他	3,739	1,853
負債合計	17,140	15,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,773	17,368
資本剰余金	4,713	4,713
利益剰余金	4,936	4,980
9,012	10,424	
3 自己株式	△1,888	△2,750
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	810	647
為替換算調整勘定	822	652
退職給付に係る調整累計額	△15	△2
3	△2	
非支配株主持分		
	23	—
純資産合計	17,607	18,016
負債・純資産合計	34,747	33,259

連結損益計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
4 売上高	60,042	55,934
売上原価	42,700	38,929
売上総利益		
5 販売費及び一般管理費	14,737	13,921
5 営業利益		
営業外収益	2,603	3,083
184	221	
営業外費用	62	77
5 経常利益		
特別利益	2,726	3,227
314	53	
特別損失	186	79
税金等調整前当期純利益		
法人税等	2,854	3,201
918	952	
当期純利益	1,935	2,248
非支配株主に帰属する当期純利益	3	3
5 親会社株主に帰属する当期純利益	1,931	2,245

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、端数切捨て)

科目	前連結会計年度 2020年4月1日から 2021年3月31日まで	当連結会計年度 2021年4月1日から 2022年3月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,553	3,562
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,044	△2,137
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,308	1,358
現金及び現金同等物の期首残高	9,444	10,753
現金及び現金同等物の期末残高	10,753	12,111

4 売上高は、株式譲渡に伴う連結対象範囲の変更、クラウド化の進展によるシステム販売の減少により減収となりました。

5 利益については、注力事業であるクラウド、セキュリティ、超高速開発が着実に成長するとともに、販管費の最適化も寄与し、増益となっております。

6 キャッシュ・フローの主なポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・税金等調整前当期純利益 (+)
- ・長期未払金の減少 (-)

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・無形固定資産の取得 (-)
- ・有形固定資産の売却 (+)

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・自己株式の購入 (-)
- ・配当金の支払い (-)

私たちは、グループビジョンのもと、価値創造型企業に向けて、これからも挑み続けます。

創り出そう、躍動する社会を。 挑戦しよう、技術とともに。

進化するテクノロジー、変動する社会、呼応して変わる私たちの生活一。

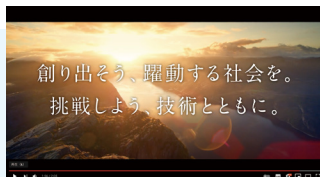
過去から続く未来は、今日も、明日も、その先も変化し続けていくことでしょう。
だからこそ私たちは技術を磨き、変化を読み、たゆまぬ挑戦で前へ、先へと進むのです。
その道のりではときに涙することもあるでしょう。

でも、私たちには信頼してくれるお客様と、その信頼に真摯に応える熱い想いを持った仲間がいます。

身に着けた技術をふるい、軽やかに未来を紡ぐ。

そうやってたくさんの企業を、そして、そこで働く人々の時間を豊かにしよう。
一つひとつは小さな「今」でも、それを重ねることで思い描いた未来になると信じて。

あなたとともに、お客様とともに、パートナーとともに、未来とともに
躍動する社会を、創りましょう。



 **YouTube：JBグループチャンネル**

ビジョンの動画をYouTubeにて公開しております。ぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=944aP0pVD-M&t=31s>



株主様Webアンケートご協力をお願い

今後の経営やIR活動に反映させていただくため「株主様Webアンケート」を実施いたします。当社ホームページよりご回答ください。回答いただきました方の中より、抽選で200名様にQUOカード（1,000円分）を進呈します。なお、環境への配慮から、はがきによる回答を廃止し、Web回答のみとさせていただきます。何卒、ご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

*お寄せいただいた情報は、当アンケート以外の目的には使用いたしません。



回答期限：2022年7月21日(木)まで

<https://www.jbcchd.co.jp/ir2022/>

会社概要 (2022年3月31日現在)

社名	J B C Cホールディングス株式会社 (JBCC Holdings Inc.)
本社所在地	〒144-8721 東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア
設立年月日	1964年4月1日
資本金	47億13百万円
グループ社員数	1,763名 (別途有期社員：239名)

役員 (2022年6月21日現在)

代表取締役社長	東上 征司
取締役	三星 義明
	高橋 保時
	吉松 正三
	藪下 真平
	内田 義隆
	井戸 潔※
	鷺谷 万里※
取締役監査等委員	山崎 健
	今村 昭文※
	渡辺 善子※

※独立社外取締役

株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	86,000,000株
発行済株式の総数	17,773,743株
株主数	6,642名

大株主 (上位10位)

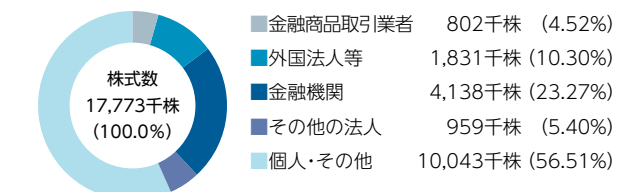
順位	株主名	所有株式数	
		千株	%
1	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,889	12.07
2	J B グループ社員持株会	1,312	8.38
3	株式会社日本カストディ銀行(信託口)	990	6.32
4	富国生命保険相互会社	684	4.37
5	野村証券株式会社	255	1.63
6	野村証券株式会社自己振替口	250	1.60
7	谷口君代	200	1.28
7	明治電機工業株式会社	200	1.28
7	安田倉庫株式会社	200	1.28
10	日本電通株式会社	182	1.16

(注1) 上記には、当社名義の自己株式2,113千株は含まれておりません。

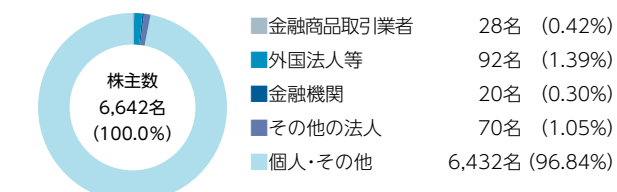
(注2) 上記の比率は「発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合」です。

所有者別株式分布状況 (2022年3月31日現在)

株式数



株主数





ホームページをご活用ください。

URL <https://www.jbccchd.co.jp/ir/>



決算などの財務内容、プレスリリースなどを紹介しています。ご質問、ご意見などをお寄せいただくコーナーもございます。



IRメール配信サービスのご案内 **無料**

当社ホームページの「IRニュース」などに掲載された各種新着情報を、メールでご案内しています。「株主・投資家情報」ページ下部の「IRメール配信サービス ご登録フォーム」よりご登録ください。



動画配信

URL <https://www.jbccchd.co.jp/ir/library/movie/>

定時株主総会や機関投資家向け決算説明会の動画など、当社経営者のメッセージ動画を配信しています。

ソーシャルメディアを活用し、情報をお届けしています。



<https://twitter.com/jbccchd>



<https://www.facebook.com/jbccchd>



<https://www.youtube.com/jbccchd>

社長
Twitter



社長の東上がTwitter公式アカウントにて、日々感じたことや会社経営に対する想いなどをつぶやいています。

URL <https://twitter.com/higashiuejbcc1>



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月に開催

株主名簿管理人

特別口座 三菱UFJ信託銀行株式会社

口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1

電話 0120-232-711 (通話料無料)

電話 042-204-0303 (通話料有料)

受付時間9:00~17:00(土・日・祝日等を除く)

郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所

公告掲載URL <https://www.jbccchd.co.jp/>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

お知らせ

株券電子化後、配当金の口座振込のご指定は配当金振込指定書を各口座管理機関(証券会社など)を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定の詳しいお手続きにつきましては、お取り扱いのある口座管理機関にお問い合わせください。

JBCCHホールディングス株式会社

決算などの財務情報に関するご質問は

e-mail: ir@jbcc.co.jp

